

(3)

経 済 状 況	科 目		年 間 収 支 額	平 均 月 間 収 支 額
			円	円
収 入	仕 送 り 額			
	アルバイト等給料			
	貯金から引き出し			
	他の団体からの奨学金			
	配偶者の収入			
	そ の 他			
	収 入 計		①	③
支 出	生 活 費	住居費(家賃)		
		食費等生活費		
		生活費計		
	教 育 費	授 業 料		
		その他の学費		
		その他の教育費 (参考書等)		
	教 育 費 計			
支 出 計		②	④	
収 支 差 額		①-②	③-④	
奨 学 金 状 況	1. 現在奨学金を受けている (団体名) (月 額) 円 2. 他の奨学団体に申し込みをしている (団体名) 3. 申し込みも、奨学金も受けていない			
今 年 度 奨 学 金 を 必 要 と す る 理 由				

年度奨学金受給申請書

公益財団法人 橋谷奨学会

理事長 殿

私は 年度貴会奨学生募集要項の内容をよく理解し、貴奨学生として採用して頂きたい、必要書類を添えて申請致します。

申請書及び添付書類等の記載内容は事実に相違ありません。

年 月 日

申請者 氏名 _____
(自国語名・ローマ字)

署名 _____

現住所 _____

上記の者の身元は私は引き受け、貴奨学会の趣意に反しないよう指導致します。

在日保証人 (ふりがな) 氏名 _____ 年令 _____

住 所 _____

電 話 _____

職 業 _____

本人との関係 _____

履 歴 ・ 身 上 書 (本人自筆のこと)

(1)		年 月 日現在		写 真 (1) (5cm×4cm) 上半身の近影を はがれないよう に貼付	
氏 名	発音 (カタカナ) _____ 自国語表記 (ローマ字又は漢字) _____ 英文表記 (ローマ字) _____ First name Family name Middle name (パスポートに記載されている通りに記入すること。)				
生年月日	年 月 日生 (満 才 月)	性 別	※ 男・女	国 籍	
現住所	フリガナ _____ 〒 _____ 方・荘・マンション 電話 ()				
在 学 校	名称・学部・学科・学年 _____ 年在学 (年 月入学)				
	住所 _____ 〒 _____ 電話 ()				
	(指導教官・教員)		(研究室・講座名)		
学 歴	教育機関の種類	学校名及び所在地(都市名のみ)	正規の修学年数	入学及び卒業年月	専攻科目及学位等
	高 校	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻
	大 学	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻
	大 学 院	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻 学位
		学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	
	日本語学校 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

職 歴	勤 務 先	所在地(都市名)	勤 務 内 容	勤務期間	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
家 族 状 況	氏 名(ローマ字又は漢字)	続 柄	年 令	職 業	在日同居
		父			
		母			
		夫又は妻			
母 連 国 絡 の 先	氏名(ローマ字で表記、フリガナをつけること)		年 令	職 業	本人との関係
	住所 _____ 電話 _____				
住 居 状 況	種 別	※ 寮、アパート、自己(家族・知人)所有住宅、その他()			
	形 態	※ 単独、同居(人) ◎本人は同居人数に含まない。			
	広 さ	居室、 室、1人当たりの専有面積 m ² 又は 畳			

記入上の注意

1. 黒インク又は黒のボールペンで記入すること。
2. 日本語で記入すること。
3. 記入は楷書又はローマ字活字体とすること。
4. 数字は算用数字を用いること。
5. 固有名詞は正確に記入すること。
6. 年号はすべて西暦とする。
7. ※欄は○で選択すること。
8. 日本で一緒に生活している家族がいる時は、家族状況・在日同居欄に○をつけること。
9. 経済状況は事実を正確に記入すること。